

# いまの日本の歴史

新聞をななめ読み、週刊誌を読み飛ばし、倍速モードでニュースを見れば、よくわかる、すぐわかる、最近の歴史。

## 【犯罪】

### 女タクシ―強盗VS乗務員の色っぽいがマヌケなバトル

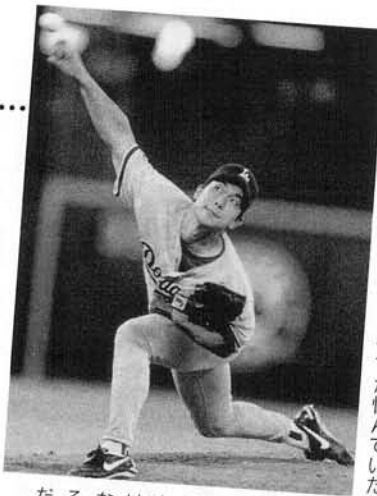
二十歳の女性二人組が起こした東京・台東区の幼女誘拐事件をはじめ、最近全国各地で若い女性の凶悪犯罪が増加しているという。

中でもスゴイのが札幌で起きたタクシ―強盗。札幌市内に止まっていたタクシ―の助手席に、強引に乗り込んで来た若い女性が中年男性の運転手へいきなり刃物を突きつけ、「お金ちょうだい」と現金5万円の入ったセカンドバッグを奪って逃走したというのだ。

若い女性はカゴ抜け（無賃乗車）はしても、凶悪事件を起さない。こんな警察や世間の常識を覆してしまった、いまの時代を表した事件なのである。

しかし、この事件はさらにスゴイおちがある。運転手が犯人の女に抵抗をし、上着をはき取ってしまったというのだ。もちろん、逃げた女はオツパイ丸だしのブルン状態。こんな格好で人の目を引き、駆けつけた警官に簡単に逮捕されてしまったという次第。いくら女性が強くなったといっても男性では有り得ない御用劇だったという。

しかし、こんな女が増えたのは女性化した最近の男のふがいなさとか。



婆さんの腰が治ったとか、低血圧によいとか、ヤンキーの更生に効果的とか。

## 【現象】

### 米国で唯一人気のある日本製品 ド軍・野茂英雄はNHKを救う

アメリカ大リーグで活躍する野茂英雄投手の話題は、いまや老若男女を問わず、日本人の共通のネタとなっているのはご存知の通り。

実は現地アメリカでも野茂効果は凄いものでNOMOグッズはバカ売れして、「これで日米の経済摩擦が少しは解消される」などと、イチピツた発言をする輩まで巷に出没しているようだ。

確かに国内外を問わず、彼のお陰でいろいろな恩恵に授かっている人は多いのだが、中でも一番感謝しているのは誰だろう、あのNHK。

それは野茂が初勝利をあげて以来、衛星放送の加入者が激増しているからだ。NHKの広報室が7月に「野茂効果もあってか、6月の衛星放送契約が前月に比べて40%増えました」という異例の報道資料をマスコミ各社に配るほど、その浮れぶりはかなりのもの。

加入者をいかに増やすか悩んでいたNHKにとっては、神様ほとけ様野茂様さまということなのである。

たぶん、これから野茂の恩恵を授かる人やものは出てくるはず。一体どんなものが出てくるのか楽しみだ。

## 【現象】

### 自分のことすら全部あなたまかせ 『だれかがどうにか症候群』登場

クリスタル症候群の登場以来、ファミコン症候群やマザコン症候群など、時の流れと共にその時代を反映した症候群というものが必ず存在している。

最も新しいものは「だれかがどうにか症候群」というものらしい。これは大阪の精神科医が発見し、名付けたもので「明らかに本人が解決すべき問題に自ら努力を示さず、といって解決を断念する様子もない行動パターン」のことをいう。これまでのマニュアル症候群（なんでもマニュアルを必要とする行動パターン）とは違って、頼るものが非常に漠然としていてのがその特徴というのだ。

この現象は男性によくみられるようで、最近巷で見かける彼女のバッグを持ち歩く「付き人くん」はその典型。彼女と恋愛を進展させたいのに、彼女にいいようにあしらわれる。もちろん、不満はあるのに「いずれどうにかなるさ」と考え、それ以上の関係を自分から進展させようとしないうらいものだ。

「MARCCA」という歌が流行るくらい他人まかせの世の中だけ、恋愛ぐらい自力で解決してほしいもの。

# 遊ぶから好き。 近いから好き。 京都のいっぺん。



太宰由美子  
(ミス映画村)

## 比叡山 アストロスキー場

12月3日(日)まで営業しています。

●リフト ●レンタルスキー ●ヒュッテ

●滑走料 おとな1,700円 こども850円

●営業時間 午前9時30分～午後5時

(11月24日(金)からは午後4時30分まで)

10月29日(日)まで。

### グラススキー場も併設

●滑走料

2時間3,000円 3時間4,000円 4時間以上5,000円  
(レンタルスキー料金、リフト料金を含んでいます)

●お問い合わせ ☎075-781-8145

●叡山電車「八瀬遊園」、京都バス「叡電八瀬駅前」、市バス  
「八瀬遊園地」下車。ケーブル接続。

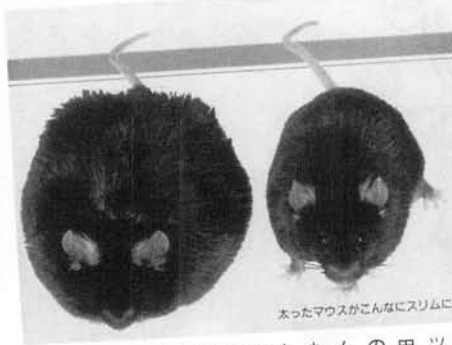
京福電車

## 【ダイエット】

7年後には究極のダイエット薬誕生!?  
デブよ、それまでは走れ! 食うな!

いま医学の最大の課題は、治療方法のない病気の原因追及及ではなく、なぜか肥満の治療法。これまで世界各地でさまざまな研究が進んでいるが、その原因の一端は解明されている。どうやら肥満の原因は、食欲を制御する遺伝子に欠陥があることが多いらしい。

サイエンス誌に掲載されたある研究グループの論文によると、ある種の合成タンパク質を太ったマウスに注射したところ、遺伝子に変化が起きてわずか一月間で体重が四割も減ったと発表。



この方法ならば、苦しいダイエットや運動も必要なければ、副作用に悩まされることもなく、訳のわからないローションを毎日まらべんなく体中に塗りたくることもしなくて済む。ダイエットに励んでいる人には夢のような朗報なのだが、残念なことにすぐには喜べない。この究極のダイエット薬の臨床実験は来年にもはじまるようだが、一般で実際に使えるようになるには最低7年くらいは必要だからだ。しかも、この研究データはマウスだけのもので、実際には人間に効くかどうかかわからない。つまり、まだ夢の話といつていい。

ここまでマウスがやせたという事実よりも、こう太ったマウスがいることの方が、編集部にとっては驚きだった。

## 【経済】

戦争終結50年だから、ではない  
欧州と日本の戦後処理意識の差

フランス銀行が来年発行予定の2000フラン札の肖像画を急遽変更。もともと映画の発明者リュミエール兄弟がその栄光の肖像となる予定だったが、フランスの象徴であるエッフェル塔の設計者・エッフェルになったという。

突然の変更にはそれなりの理由がある。実は過去があり、その点を国内外から追及、批判されることを恐れたことが原因というのだ。「そんな過去のことなどいいじゃないか」とも思ふやうなことが、国際的にみればこの配慮は妥当なことなのだ。

実は日本にもこれと似た論争があった。それは現在の1万円札の肖像になつていく福沢諭吉人の下に人をつくらず、で知られているが、「脱亜論」という著書の中で朝鮮人を罵倒していたら批判を受けたようだが、結果は御覧の通り気にせず採用。いまだに韓国・朝鮮から日本は戦後の謝罪や反省がないといわれるのは、こういった配慮不足も大きな原因。

## 【政治】

不遜なのは制作者か長老衆か  
話題の自民党選挙用ポスター

今年の参院選の際に、テレビで流れた自民党のイメージCMには驚かされたが、そのときの選挙ポスターもこれまでにないものだったことをご存知だろうか。「老後に不安を感じたら、自民党まで」、「教育に注文があるなら自民党まで」といったなんともスドリートなコピー、フロリダ・レッサーパンダやドリル(サル)などの珍獣を登場させたシンプルなもの。これまでのジジイイメージを一新したなか



姿勢に不満を感じたら  
自由民主党広報部まで

なか洒落たポスターだった。自民党らしくない? このポスターを制作するのは、もちろん、古株の党幹部から「コピーがエラそうだ。有権者にそんな注文をつけるのは不遜だ」とクレームをつけられ、広報部長が事態の收拾を図る一幕があったほどで自民党内部は大変だったそうだ。しかし、エラそうで不遜なのはたぶんこう発言した本人、と有権者なら誰もが思うはず。建前ばかりで、腹黒いイメージがどうしてもぬぐえない自民党の幹部政治家たちこそ、このポスターをつくった感性を手本として政界を刷新してもらいたいものだ。